

* Bugenhagen(ブーゲンハーゲン) というタイトルは？ ルターの協力者で、宗教改革を推進した人物から名付けました。

百科事典使ってる？

調べ物をするとき、何から始めますか？

CiNiiやOPACを使って…

Google等の検索エンジンを使って…



どれも正解です。しかし、百科事典などの事典で引くことで、概要を知ることができ、次にどのようなことを調べるのが良いか、道筋が見えてきます。すぐに専門的なことや、核心に近づきたくなりがちですが、先行研究が重要なことと同じくらい、概要や広義を知ることが大切です。調べる事柄についての知識が足りない時はもちろんですが、既に知っている場合でも、基本に立ち戻ってみると、思わぬ気づきがあるかもしれません。百科事典は図書館では総記という分類にあたります。総記には百科事典のほかにも、新聞、逐次刊行物も含まれます。インターネットや雑誌記事、図書と併せて、百科事典・事典をそれぞれの特性を活かし組み合わせ使用してください。

ルーテルにある百科事典・事典

本学では、図書館のアクティブラーニングスペースに『世界大百科事典』(030||H51)が、書庫4階に『ブリタニカ国際大百科事典』(030||B92)などがあります。

専門事典はアクティブラーニングスペースに『心理臨床大事典』(140.3||U57)『障害百科事典』(369.27||N7715)『生命倫理百科事典』(490.15||Se185)『世界宗教百科事典』(160.3||Se224)『世界キリスト教百科事典』(190.3||B24)『基督教百科事典』(190.3||Ki542)『日本キリスト教歴史人名事典』(190.3||N775)『新カトリック大事典』(198.2||Sh64)などがあります。その他にも様々な事典がありますので、実際に図書館で見てください。「こんな事典があるのか！」と驚くはずですよ。

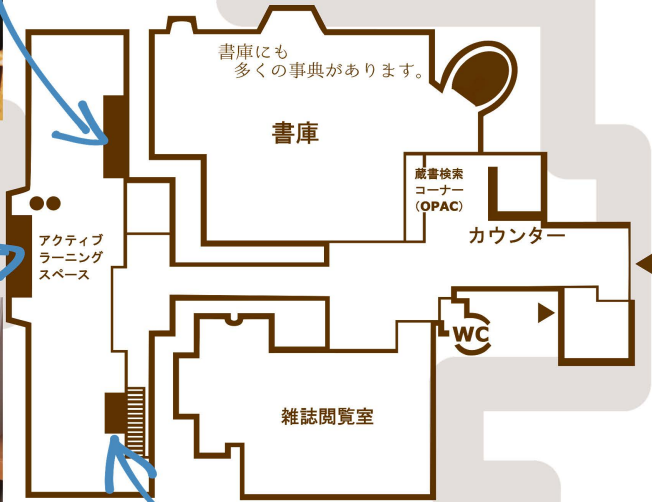


- 事典一覧はこちら
- 心理学系の事典一覧はこちら
- 社会学系の事典一覧はこちら
- 哲学・宗教系の事典一覧はこちら

図説キリスト教聖人文化事典	190.3 D48
図説キリスト教文化事典	190.3 L54
「第三世界」神学事典	191.03 F11
聖書植物大事典	193.02 E96
旧約新約聖書神学事典	193.03 B38
聖書動物事典	193.03 F44
カ-聖書百科事典	193.03 Ka62
ギリシア語新約聖書釈義事典	193.53 G47-1 1
新渡戸稲造事典	194 Sa853-6
修道院文化史事典	195.8 D76
キリスト教慶弔学事典	196.34 O 12-1
西洋美術解説事典	196.72 H22
鑑賞のためのキリスト教美術事典	196.72 H47
キリスト教シンボル・デザイン事典	196.72 P84
日本プロテスタント讃美歌・聖歌史事典	196.76 Te83-2
クリスマス百科事典	197.84 B68
長老・改革教会来日宣教師事典	198.51 N37
ルターと宗教改革事典	198.352 N77-6 1
etc.	



現代心理学「事例」事典	140.3 N34-1
図説児童心理学事典	143.3 Ta47
夢の事典	145.2 L59
臨床心理学入門事典	146.03 R454
精神分析事典	146.1 C38
クライン派用語事典	146.1 H61
パーソナル精神分析事典	146.1 Ma79-1
カウンセリング事典	146.3 Ko123
家族療法事典	146.5 Ka99
メンタルケア用語事典	146.8 Me54
交流分析事典	146.8 Ti46
行動療法事典	146.9 B33
高齢者の「こころ」事典	143.7 N77 1
天使の夢事典	145.2 Sa25
etc.	



世界大百科事典 030||H51

どうやって引くの？

事典には構成や編集方針、凡例（はんれい）が記されていますので、使い始める前に目を通しておきます。これは、辞典にも共通しています。国語辞典などにも編集方針や凡例（はんれい）が載っています。凡例は、取り扱い説明書のようなもので、詳しい使い方がわかります。

『世界大百科事典』（平凡社、2006）をみてみましょう。1巻の「《世界大百科事典》の構成」を読むと、五十音順または、アルファベット順に並んでいることや、カラー図版を多く掲載していることがわかります。百科事典を引くときは索引を利用します。『世界大百科事典』のように、複数冊にまたがる場合、総索引が別冊に分かれていることがあります。索引（31巻）の凡例を見ると、カラー図版、和文索引、欧文索引からなっていることや、書名や論文名には“《 》”が付くことがわかります。

例えば、31巻の索引で「カメオ」という語句を引いてみます。

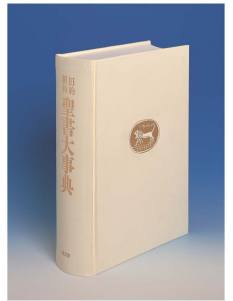
カメオ 6-76図、4-496図（貝）、
26-133図（宝石）、27-276図
（万宝貝）、30-434図（ローマ）

このように5つ示されています。順に見ていくと、6巻76ページの中段では、工芸美術における彫石の「カメオ」が説明されています。4巻496ページの左段では、前ページから続く「貝」の説明の中に装身具の「カメオ」が出てきます。26巻133ページの中段では、「宝石」の説明中に「着用目的の宝飾石であるカメオ」とあります。27巻では、「マンボウガイ」が「カメオの材料になる」とあります。30巻では、「ローマ」の貴婦人が高価な装身具を身につけ、「カメオ浮彫のようなより大衆的な装身具には、オニックスや碧玉などの準宝石が用いられた」とあります。

ある程度概要がわかったら、美術品としてのカメオを調べるのか、装身具としてのカメオを調べるのか、装身具としてなら大衆が身につけていたものか、高貴な身分の人が身につけていたものか、材料は石なのか、貝なのか…どこに焦点を当てるかを決めます。そうすることによってその後探す専門書が自ずとみえてきます。

『旧約新約 聖書大事典』（教文館、1989）もみてみましょう。

「編集方針・凡例」から、4つの索引や、底本を知ることができます。また、日本聖書協会口語訳に多く用いられる訳語を見出しにしていることや、新共同訳聖書の読者のために「新共同訳聖書の語句から本事典を引くための手引」が巻末にあることがわかります。



例えば、新共同訳聖書の「生き残り」という語句を調べると「生き残り」→「残りの者」とあるので、891ページの「のこりのもの」を引きます。

「1*選びの信仰と裁きの緊張関係から、＜イスラエル＞にとって残りの者の可能性の問題が生じた。」（一部抜粋）とあります。凡例によると“*”はこの事典に項目があるという符号なので、「選び」も合わせて調べてみましょう。また、“< >”は「BHH原文で強調のためのイタリック体が用いられている」（凡例）とありますので、「イスラエル」は底本であるBiblich-Historisches Handwörterbuchではイタリック体で強調されていることがわかります。1文だけを読むにも凡例が必要ということがわかります。

事典を使うことで、語句についてだけでなく、語句の理解のために必要な関連するテーマが分かるため、そこから深堀りしていくのも一つの方法です。

右の書影をクリックして

読むことができます。

ルーテルにある
電子書籍の事典は14冊

早速アクセスして使ってみよう！



編集後記：インターネットを使う皆さんは既に事典もマスターしているも同然です。事典の索引は検索結果のサイトリンクが並んでいるようなもの。ネット検索でも最初にWikipediaで概要を調べることも、ありませんか？同じように事典を使ってみてください。（松田）

Bugenhagen No. 52

編集・発行 ルーテル学院大学図書館

TEL/FAX 0422-31-4814

図書館ウェブサイト URL : <https://www.luther.ac.jp/library/>

2021年10月22日発行

〒181-0015 三鷹市大沢3-10-20

Twitter公式アカウント：@Luther_Lib